

公立浜坂病院 整形外科（肋骨骨折）受診記録

R05.12 裏庭の折れた枝を整理するため、脚立に上って、木の枝を切っていた時、枝が跳ね上がった勢いで、背中から転倒してしまいました。最近では経験のない衝撃がありましたが、致命的ではないと感じ、そのまま最後まで作業を続行しました。

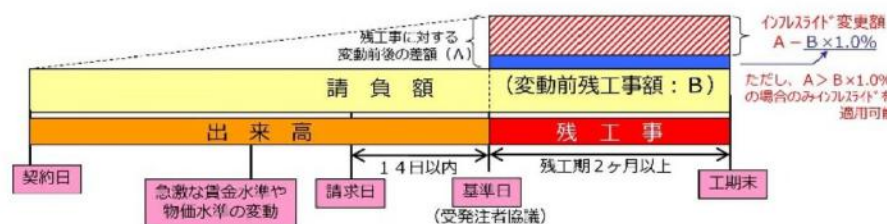
時間が痛みを解決するだろと思っていましたが、むしろ痛みが増してきました。3日後、久保先生に診断していただいたところ、「運が悪ければ、今頃、豊岡病院のICUだったね、危ないことをしたらいけませんなあ！」と肋骨3本脊椎の突起1か所骨折。いつも隣合せの危険を再認識しましたが、受診を終えて、ホッとしました。

R05.12 定例議会 新市橋上部工修繕工事請負変更契約 反対

新市橋上部工修繕工事の昨年9月議会での2度の変更契約に続く、3度目となる変更契約が提案されました。今回の変更内容は国土交通省が標準化した契約条項に基づく、契約締結後の請負側の物価高騰のリスクを補うためものです。

しかし、その対象は当初契約の範囲に限られており、昨年9月の2度の増額変更は制度上対象外です。しかし、今回の1%上乗せする増額変更に対象外の金額が含まれていることを本会議の討論でも説明し、修正すべきだと主張しましたが、原案通り承認されてしまいました。

インフレスライド（工事請負契約書第26条第6項）



上図の契約日は令和4年11月15日で、基準日として令和5年3月1日を設定したとの説明でしたが、令和5年9月の変更契約工事内容分は残工事ではなく、変更契約分は制度上、対象外です。

感動ばなし

昨年10月に、八田コミュニティセンター（おもしろ昆虫化石館）で夢が丘中学校の地域をテーマにした新聞への寄稿が33回目を迎えたことを機にして、全寄稿の公開展示会が開催されました。

力を合わせて取り組んだ生徒の皆さんと、ご指導された先生に敬意を表します。私が中学生の頃、地域の事を考えるなど有り得ないことでした。寄稿の内容も納得させられることばかりです。

生徒の皆さんが社会人になっても、きっと永遠の記憶になると思います。11月の世界農業遺産認定記念シンポジウムでの発表も想像もできなかった趣向が凝らされていました。世界農業遺産に認定された但馬牛飼育システムが、この町の振興に繋がる取組みを皆さんのためにも求めて行きたいと思ひます。

卒業される皆さんの幸せとご活躍を祈念いたします。



どうなる？巨大風力発電プロジェクト

新たな情報はありますが、積極的に反対活動に取り組まれたKさんが逝去されたことを知りました。衷心よりご冥福をお祈りいたします。

令和6年2月5日臨時議会

政府の意向に沿った物価高騰対策等の補正予算のみで、特段の提案はありませんでした。

2月7日歌長での座談会

有志議員が地域に出向く、温泉地域・歌長での座談会に参加させていただきました。

詳細な話題としては①リフレッシュパークゆむらの年間パス復活要請、②浜坂地域の認定こども園問題の早期解決、③塩山の有害獣処理の日曜日受入れ要請、④外国人材受け入れ支援要請などが上がりました。

①については、折り合いをつけて復活させるべきだと思います。

今回の方針は、一方的で、工夫が足りないものだと思います。

【追悼】 昨年12月に町議会傍聴席の主：Hさんが不慮の事故により逝去されました。議会報告会でも積極的に発言されるご意見番でした。私の事務所にも遠距離を自転車で2度、来られてお話しさせていただきました。衷心より、ご冥福をお祈りいたします。



析の実 通信

（ただちゃん つうしん）



河越ただし

住民の幸せ追求が町政のつとめ

発行：河越 忠志

〒669-6801 新温泉町井土 978-1 TEL0796-92-2428(事) 92-2206(自)

E-mail:take2428co@coffee.ocn.ne.jp https://www.facebook.com/tadashi.kawagoe.1

大切な命を守るために



令和6年・辰年を迎えて

元旦に発生した能登半島沖地震の甚大な被害に自然災害の怖さを再認識させられる年始めになりました。被災された皆様には、心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。

当地域においては、1m～3mの津波警報が発表され、災害への備えの重要性を更に強く実感されたことと思います。

翌日の航空機衝突事故は、日航機の乗客乗務員の無事が何よりですが、被災地に向かう予定であった海上保安庁の方々の犠牲は無念としか言いようがありません。

辰年は「変革の年」とも「努力してきたことが報われる年」とも言われますが、皆様の安寧を祈るばかりです。

今回の津波警報は認定こども園問題の解決に繋がるか？

但馬県民局の方は「高潮と津波が重なれば、現在の津波の想定を超えるかも知れない。」と発言されました。住民の安心安全を守る上で、行政は可能な限り危険性を回避する側での判断が求められると思います。町当局には、その考えを基に防災対策を求めていると思います。

町長、住宅施策の必要性に初めて言及

令和5年12月議会の同僚議員の一般質問の中で、西村町長が初めて、当町における住宅施策の必要性について言及されました。

町長が就任以来、多くの議員が本町の若者が結婚をし、新所帯を持つ際、岩美町など鳥取方面に住所を移したり、県職員さんが本町に赴任されても、鳥取に借家を借りるケースが多いことの原因に、本町の施策が足りないことを指摘してきましたが、「住宅は、民間に任せておけばいい。」と全く、対応を拒絶する答弁に終始されてきました。

必要性に気付かれた切っ掛けは、民間企業からの外国人労働者の住居不足に対する対応を求められたことによるものと推察されますが、様々な住宅関連施策の提案があることに期待したいと思ひます。

本町の利便性の高い場所は岩美町内に比べ、地価が高いと言われています。住宅用の土地を求めるにも、貸家を事業化するにも、困難です。むしろ、鳥取より進んだ住宅供給施策が必要です。

我が町の防災対策は大丈夫か？課題が顕在化！

R06.01.29 民生教育常任委員会（町民安全課）

【町当局①】元日の能登地震時の町内全域の避難指示は『沿岸部は、津波に対して、その他の地域は土砂崩れに対してのもの』との説明がありました。

【課題①】地域の方々は、『津波警報』に対して、ほぼ自主的に行動（避難）されたと思いますが、時間経過に伴う町当局の適時適所への避難指示または誘導は適切だったか。土砂災害の危険性に対する発信は全くありません。

【町当局②】災害発生から3日間、行政は救助に集中する必要があるため、『防寒対策や食料も住民の自己責任での対応が必要』との説明がありました。

【課題②】自主避難された地域の方が、役場に支援を要請されたとき、自主避難への対応はできないとの対応に不信感を持たれたとのお話しが伝わってきました。可能な限り、ねぎらう姿勢が必要だったと思います。

【町当局③】災害対策本部が設置されている時間中に、本部長が設置場所を離れ、多くの方が避難されている浜坂中学校を訪ねられたことを常任委員会で確認しました。

【課題③】災害対策本部の責任者が不在になれば、逐次状況が変化することへの責任ある対応が不可能になり、また、本部に詰めている幹部職員の緊迫感に水を差し、災害対策本部としての組織の機能が失われます。

【町当局】町が開設した避難所は2箇所、その他、浜坂中学校を含む11箇所への避難があり、延べ1300人以上が避難されたとの報告がありました。更に、避難中に負傷された方がおられたとの報告もありました。

能登半島地震の発生に伴う新温泉町における防災対策の経過

日時	防災体制及び防災情報	日時	防災体制及び防災情報
R06.01.01 16:30	石川県能登地方で、M7.6、最大震度7の地震が発生。新温泉町災害対策本部設置。（当初見込：震度4）	20:42	町防災無線「津波警報発令、津居山・田後での津波情報、避難体制・余震警戒維持指示」放送
16:13	町防災無線「津波注意報発令」注意啓発放送	21:00	第4回新温泉町防災対策会議（新温泉町HP）
16:22	兵庫県北部に津波警報発令（気象庁HP） 新温泉町全域に避難指示発令（新温泉町HP）	22:00	第5回新温泉町防災対策会議（新温泉町HP）
16:23	町防災無線「津波警報：海岸付近範囲への避難誘導」放送	23:00	第6回新温泉町防災対策会議（新温泉町HP）
16:42	町防災無線「海岸付近範囲への高台など避難指示」放送	23:06	町防災無線「震度4の地震が発生情報、火の始末・落ち着いた行動の啓発」放送
16:51	町防災無線「多目的集会所の避難所開設、海岸付近関係者への高台など安全な場所への避難指示」放送	23:23	町防災無線「震度4の地震が発生情報の誤り、余震警戒の啓発」放送
17:30	第1回新温泉町防災対策会議（新温泉町HP） 町防災無線「津波警報発令、情報確認啓発」放送	23:30	第7回新温泉町防災対策会議（新温泉町HP）
18:00	第2回新温泉町防災対策会議（新温泉町HP）	R06.01.02 01:45	「令和6年能登半島地震」について（第3報） 北海道～九州の日本海沿岸に津波注意報（気象庁HP）
18:50	町防災無線「津波警報発令、継続避難体制維持指示、ユートピア浜坂の避難者受入れのための休館情報」放送	06:02	町防災無線「津波警報の注意報への切り替わり情報、午前6時、避難指示解除、継続余震警戒・情報確認啓発」放送
20:00	第3回新温泉町防災対策会議（新温泉町HP）	08:04	町防災無線「新温泉町災害対策本部解散情報、津波注意報継続情報、情報確認の継続啓発」放送
20:42	町防災無線「津波警報発令、津居山・田後での津波情報、避難体制・余震警戒維持指示」放送		浜坂、渡辺町内会長さんが作成された資料の抜粋転載。

認定こども園の立地問題

『今回の津波で、認定こども園整備問題が解決するね！』とメールを含め、複数の方から声を掛けていただきました。

更に『人の命より、公約を守るの方が大事だと云うのか？』との声もいただきました。

行政は、住民の安心安全の追求が使命です。まして、自力で避難できない0歳児を含む幼少児の安全の追求を怠ることは、どんな場合でも、許されないはずです。

備え：保育受入れの現状

ゆめっこ認定こども園の0歳児の定員は12名です。

しかし、職員不足のため受入れは、半分です。移住してこられた方が『子どもを受け入れてくれないので、開業できない。』と困っておられます。わが町は、若者を受け入れる町になっていません。

どんな分野でも防災と同様、備えが重要だと思います。

議会常任委員会合同行政視察研修報告（2）

佐用町（堆肥生産工場）・岡山県和気町（教育、移住施策）・岡山県久米南町（デマンド交通）05.10.19-20

目的：世界農業遺産を私たちの町の地域振興に繋げる

【新温泉町における課題】新温泉町には一般的に使用される牛糞堆肥生産施設（牛糞処理施設）がないため、牛糞処理が家畜農家の大きな負担となっており、持続可能な運営形態を有する堆肥センターの設置が求められています。

近畿農産資材株式会社（佐用町）の取り組み

近畿農産資材(株)は1975年に牛糞堆肥の製造販売を個人事業として創業され、1978年に現在の法人を設立されました。創業から現在までも地元自治体から特段の支援を受けることなく、事業を維持拡大され、その時々合ったニーズを的確に判断され、事業展開されてきたことを視察での説明で感じました。

同社は、現在、農業、園芸、法（のり）面・造園の3部門に分けた事業展開をしておられ、農業部門では、牛糞堆肥、バーク堆肥、活性炭堆肥、マルチバーク、セル苗用土の5種類の製品を生産されています。自力での採算性と社会のニーズを



的確に把握されながらの取り組みには、先代から受け継がれた西社長の情熱が感じられました。

新温泉町での今後の取り組みについて

牛糞処理施策は喫緊の課題であり、避けて通ることはできません。処理施設整備に向けて、用地の全体規模、臭い対策を要する工程の用地規模、各工程原材料・製品の運搬手段、初期施設規模、初期機械器具費用などを前例で想定した上で、更に立地条件を考慮した事業計画を立てる必要があると思います。

失敗は許されず、信頼できるコンサルティング等による必要な技術力と経営力の獲得が不可欠だと思いました。

JA全農兵庫但東畜産センター（05.11.28視察）

【4人の有志議員での堆肥生産施設の追加視察】但馬内の情報が必要だと思い、有志と共に、但東畜産センターを視察させていただきました。

＜学んだこと①＞牛糞処理を意識した牛舎床敷材を工夫しておられたこと。

＜学んだこと②＞肥育牛より繁殖牛の方の牛糞処理が困難であること。

＜学んだこと③＞糞一次脱水処理は牛舎の近くが有利であること。

＜学んだこと④＞堆肥の需要を意識した生産体制と保管施設が必要であること。

＜学んだこと⑤＞肥育牛は、職員さん1人当り100頭以上飼育できること。

視察に当たっては、山崎：温泉営農センター長にお世話いただきました。



香美町村岡有機センター（06.01.15資料取得）

村岡有機センターは、町有施設を民間の利用組合に指定管理委託し、運営されています。敷地は延べ8,860㎡（賃借）。施設は以下のとおりです。概ね330頭分の処理実績があるとのこと。

ふん尿処理棟S造：2,915㎡
車両格納庫S造：102㎡
堆肥スッパートW造：108㎡
牛糞年間処理量：3,000t以上

施設の想定最大処理能力は、約3,600t程度とのことでした。香美町村岡有機センター利用組合は、平成10年設立、資料に基づく会員は、畜産農家17戸、耕作農家73戸となりました。香美町の年間支出は、賃借料を含めても、100万円余りだそうです。

シクラメンの花を購入するため、但馬農業高校を訪ね、販売場所を尋ねた生徒さんが畜産科だと知り、「畜産、頑張ってください！」と声を掛けると「頑張ります！」と元気な声で返事がありました。

その時、若者のやる気を後押しできる新温泉町でもあって欲しいと思いました。